

MaxBox-PJ

NETIS掲載終了
QS-160048-A

PJ工法分割接合型RC構造プレキャストボックスカルバート

●特長

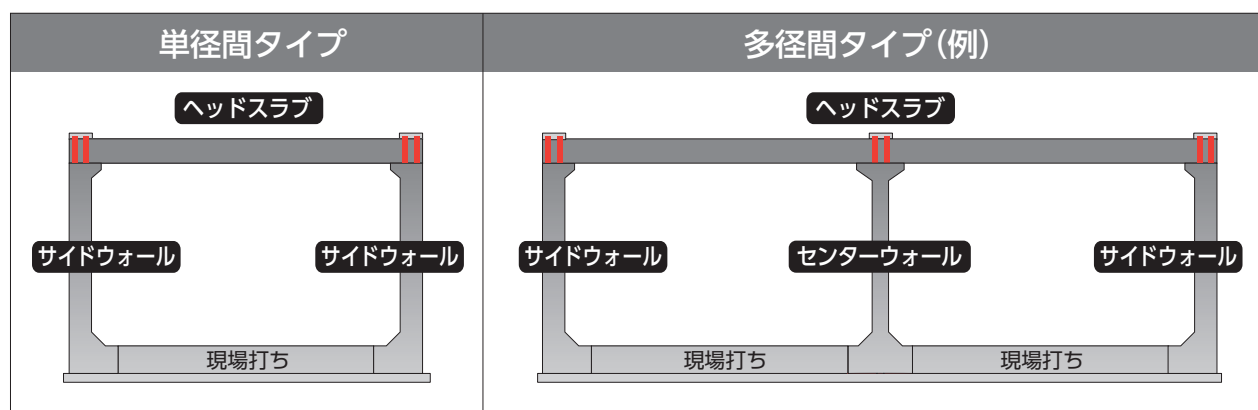
「MaxBox-PJ」は、部材から突出させた高強度異形鉄筋をナットで締付け、圧着力により接合させる工法です。高強度鉄筋が構造用鉄筋と緊張材の役割を担うため、過密配筋が避けられ、頂版部がスラブ形状、側壁部材がL字型に単純化でき、経済性と施工性が大きく向上しました。

<単径間タイプ>

最大内空幅 12.0m
最大内空高 7.0m
土被り 0.5~3.0m

<多径間タイプ> (1断面当り)

最大内空幅 6.0m
最大内空高 7.0m
土被り 0.5~3.0m



MaxBox+プラス

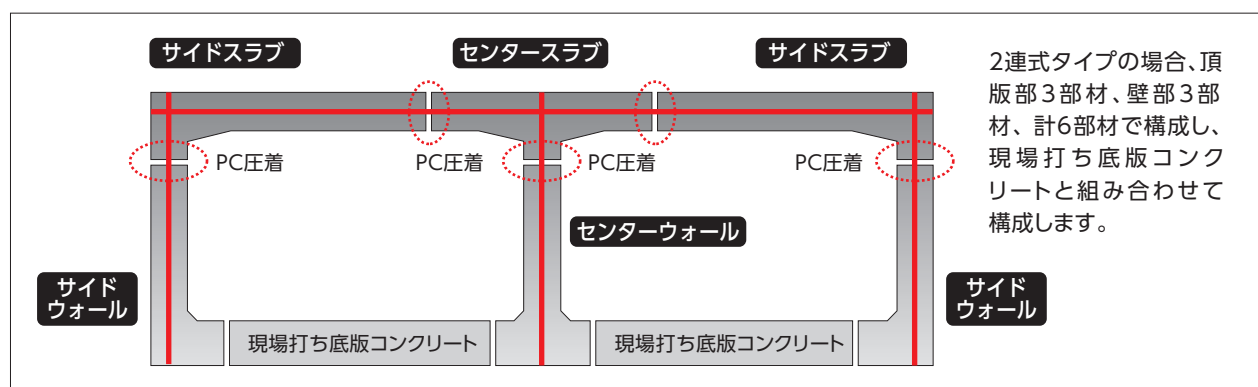
NETIS登録
QS-150009-VE 「活用促進技術」

耐震性プレキャスト式ボックスカルバート

●特長

「MaxBox+」は、PC鋼材の緊張力により結合するPC圧着工法を採用した鋼結合方式の耐震性プレキャスト式ボックスカルバート製品です。多分割されたプレキャストコンクリート製の部材と現場施工 (もしくはプレキャスト製) のコンクリート底版と組み合わせることにより構築されます。

最大内空幅 11.0m
最大内空高 7.0m
土被り 0.5~3.0m



MaxArch

NETIS掲載終了
QS-130030-A

耐震性プレキャスト式アーチカルバート

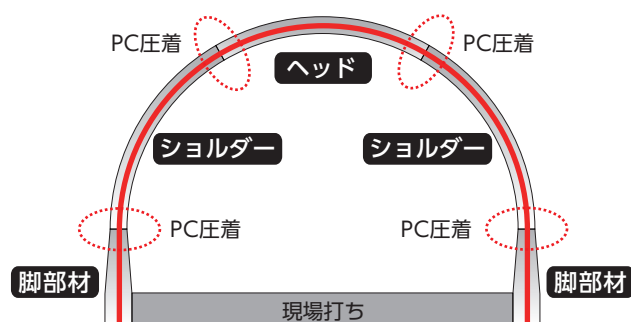
●特長

「Max Arch」は、ヤマックス社が九州大学・熊本大学との共同研究により開発した耐震性プレキャスト式アーチカルバート製品です。プレキャストコンクリート製のアーチ部材および脚部材と現場施工（もしくはプレキャスト製）のコンクリート底版と組み合わせることにより構築されます。

PC鋼材によって一体化することで、地震などの荷重が一時的に作用し変形しても荷重が除かれると復元力により元に戻るため、耐震性に優れた構造となっています。先の熊本地震において、震度5強・6弱の繰り返し地震荷重を受けつつも異常はありませんでした。



PCタイプ（PC圧着工法）



RCタイプ（モルタル充填式鉄筋継手）



アーチ部3部材、脚部2部材、計5部材もしくは、アーチ部1部、脚部2部材、計3部材で構成し、現場打ちコンクリートと組み合わせで構成します。

設計条件、現場条件等、経済性などを考慮してPCタイプ・RCタイプの最適な提案を行います。
また、さらなる工程短縮など施工条件により、底版部もプレキャスト化することも可能です。

施工手順



① 配置・組立て

製品を仮置きし、PC鋼材によって緊張・一体化します。



② 製品の立起し

クレーンを用いて立起こします。



③ 敷設

製品を基準線に沿って敷設します。



④ 縦締め緊張工



⑤ 完成